

## 6 保健事業のあゆみ

年 度	内 容
昭和61年度 (1986)	保健センター開設(4月1日) ◆機能訓練事業(通所)開設 ◆乳がん検診(集団)開始 ◆健康かるた作成 ◆健康音頭制作 ◆第1回健康まつり実施 ◆400ml献血、成分献血実施
昭和62年度 (1987)	◆第2回健康まつり実施 ◆肺がん検診(エックス線検査、喀痰細胞診)開始
昭和63年度 (1988)	◆老人クラブ対抗健康かるたとり大会開始 ◆第3回健康まつり実施
平成元年度 (1989)	◆在宅機能訓練訪問指導事業開始 ◆胃がん、子宮がん、乳がん検診に登録制導入 ◆新三種混合(MMR)予防接種開始
平成2年度 (1990)	◆栄養士新規採用 ◆食生活改善推進員23名から83名に増員 ◆「母子保健推進員」を「健康づくり推進員」に改称し、83名に増員 ◆高校生タバコの講演会開始 ◆厄年一日人間ドックを国保加入者対象に実施—保険年金課所管
平成3年度 (1991)	◆基本健康診査開始 ◆乳がん検診施設検診に移行 ◆厄年一日人間ドックの対象者を社保加入者にも拡大
平成4年度 (1992)	◆食生活改善推進員87名を97名に増員 ◆健康づくり推進員87名を97名に増員 ◆大腸がん検診(集団)開始 ◆各公民館における定期健康相談廃止 ◆基本健診にクレアチニン検査を追加(平成19年度まで実施)
平成5年度 (1993)	◆新三種混合(MMR)予防接種廃止

年 度	内 容
平成 6 年度 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子宮体部がん検診開始</li> <li>◆インフルエンザ予防接種中止</li> <li>◆10月 予防接種法改正</li> <li>◆11月 須賀川市新国立病院建設促進協議会設立 (H13.3 解散)</li> <li>◆12月 新国立病院建設促進市町村協議会設立 (H13.3 解散)</li> </ul>
平成 7 年度 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆作業療法士新規採用</li> <li>◆予防接種 (乳幼児に係る三種混合、日本脳炎、風疹) 個別接種開始</li> <li>◆歯科訪問調査及び在宅寝たきり者の実態調査実施</li> <li>◆胃がん検診施設検診開始</li> <li>◆駐車場用地取得 496.41 m<sup>2</sup> (2月16日)</li> <li>◆休日夜間急病診療所を保健センターに移設 (3月1日)</li> </ul>
平成 8 年度 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆機構改革により保健福祉部市民健康課に名称変更</li> <li>◆寝たきり老人等訪問歯科診療開始</li> <li>◆寝たきり老人等訪問歯科指導開始</li> <li>◆食生活改善推進員97名を103名に増員</li> <li>◆健康づくり推進員97名を103名に増員</li> <li>◆須賀川市母子保健計画策定</li> </ul>
平成 9 年度 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆母子保健事業が県から移譲 妊婦、乳幼児健康診査 (3か月児健診、3歳児健診、3歳児精密) 乳幼児育成指導事業 (なかよし教室) 妊婦・乳幼児保健指導、妊婦・新生児訪問指導</li> <li>◆6・7か月児健診から9・10か月児健診に変更</li> </ul>
平成10年度 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保健センター2階「集団運動指導室」に冷房機設置</li> <li>◆厄年歯周疾患検診開始</li> <li>◆機能訓練事業参加者へのタクシー代助成開始</li> <li>◆がん検診費地方交付税措置 (一般財源化) となる。</li> </ul>
平成11年度 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者食生活調査実施</li> <li>◆基本健康診査にヘモグロビン A1c (血糖検査) 導入</li> <li>◆小・中学生の(二種混合、日本脳炎、風しん)を集団から個別接種に移行</li> <li>◆献血対象者限度年齢が64歳から69歳に拡大</li> <li>◆すくすく学級 (育児教室) 開始</li> <li>◆おひさま学級 (親子教室) 開始</li> <li>◆心理相談員による訪問指導開始</li> <li>◆乳幼児歯科訪問指導開始</li> </ul>

年 度	内 容
平成12年度 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「須賀川市健康アップ21」保健計画策定事業着手（～13年度）</li> <li>◆高齢者ふれあい事業「いろり」開始</li> <li>◆機能訓練事業「ふれあいいりハビリ教室」から「はろ～りハビリクラブ」に名称を変更（開催回数 22回から44回へ）</li> <li>◆一日人間ドック「厄年人間ドック」を「YOU悠人間ドック」に名称を変更（対象年齢 男性40歳 女性40歳）</li> <li>◆障害児等育成支援事業（発達相談会、処遇検討会、障害児療育研修会）を岩瀬地区4町村と合同で開始</li> <li>◆3月 須賀川市新国立病院建設促進協議会解散</li> <li>◆3月 新国立病院建設促進市町村協議会解散</li> </ul>
平成13年度 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「須賀川市健康アップ21」保健計画策定</li> <li>◆65歳以上の高齢者などへのインフルエンザ予防接種実施</li> <li>◆個別健康教育（対象：血糖要指導者）開始</li> <li>◆「糖ってもいい教室」（国保モデル事業）開始</li> <li>◆食生活改善推進員のボランティア移行事業として「ジャンプアップ講習会」実施</li> <li>◆出前健康相談・出前健康教育を老人クラブ等に周知</li> <li>◆集会室改修（バリアフリー化）</li> </ul>
平成14年度 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆須賀川市第二次母子保健計画「須賀川市すこやか親子21」保健計画策定</li> <li>◆精神保健福祉事業が県から移譲</li> <li>◆基本健康診査の検査項目に肝炎ウイルス検査追加</li> <li>◆食生活改善推進員会がボランティアとして活動開始</li> <li>◆健康アップ通信講座開始</li> <li>◆膝痛予防に係る市民アンケート調査実施</li> </ul>
平成15年度 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「須賀川市健康アップ21」保健計画並びに「須賀川市すこやか親子21」保健計画を推進するため、大東地区をモデル地区として選定し、「大東地区健康づくりの会」を設立</li> <li>◆膝痛予防教室開始</li> <li>◆高齢者対策として調理室の床改修及び調理台全台への給湯用蛇口取付</li> <li>◆高齢者対策として階段手摺を両面に取付</li> <li>◆階段部に転落防止用防護ネット設置</li> <li>◆休日夜間急病診療所の診療体制 午後2時～5時診療開始</li> <li>◆風しん予防接種経過措置終了（9月）</li> <li>◆子育てボランティア育成支援事業開始</li> <li>◆小学1年・中学1年のツベルクリン反応検査廃止</li> </ul>
平成16年度 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学生への食育事業「こどもエプロン隊」（単年度事業）</li> <li>◆父子健康手帳の交付</li> <li>◆胃がん検診に内視鏡検査を導入</li> </ul>

年 度	内 容
<p>平成17年度 (2005)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「大東地区健康づくりの会」に続き、仁井田地区に「仁井田地区健康づくりの会」を設立</li> <li>◆「須賀川市健康アップ21」保健計画中間評価の実施</li> <li>◆フッ化物歯面塗布事業を開始</li> <li>◆助産師等による訪問指導を開始</li> <li>◆乳がん検診マンモグラフィ検査導入</li> <li>◆結核予防法改正により、 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 結核検診の対象年齢が65歳以上となる。(4月1日)</li> <li>② BCG接種において、ツベルクリン反応検査が廃止され、対象年齢が生後3か月以上6か月未満に縮小された。(4月1日) また接種方法は、個別予防接種に変更となった。</li> <li>③ 須賀川市定期予防接種対象外 BCG 接種実施要綱制定 (8月3日制定) 対象…生後6か月～1歳未満</li> </ul> </li> <li>◆第3期日本脳炎予防接種(対象：中学3年生)の廃止 (5月29日)</li> <li>◆日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控え (5月30日)</li> <li>◆子育て支援学級「ママ～ズほっとたいむ」開始</li> <li>◆子宮がん検診対象 20歳以上で偶数年齢の女性となる。</li> <li>◆乳がん検診対象 40歳以上で偶数年齢の女性となる。</li> <li>◆高齢者ふれあい事業「いろり」廃止</li> </ul>
<p>平成18年度 (2006)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆老人保健法・介護保険法の改正により、老人保健事業は、65歳未満の者を対象に実施し、65歳以上の者に対しては、介護保険法の地域支援事業として位置づけられ、下記事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 特定高齢者把握事業・基本健康診査にあわせて生活機能評価開始</li> <li>② 特定高齢者施策として、通所型の運動機能向上・栄養改善教室、及び訪問型の栄養改善・口腔機能向上事業を実施</li> <li>③ 一般高齢者施策として、介護予防サポーターの育成を開始</li> </ul> </li> <li>◆「須賀川市すこやか親子21」保健計画中間評価の実施</li> <li>◆麻疹風疹混合予防接種が開始(4月1日～) <ul style="list-style-type: none"> <li>1期：生後1歳～2歳未満</li> <li>2期：小学校就学前の1年間</li> </ul> </li> <li>◆定期外予防接種実施要綱制定(4月1日制定)：BCG(前年度に同じ)、麻疹・風疹(生後1歳～7歳6か月未満) 須賀川市定期予防接種対象外 BCG 接種実施要綱廃止</li> <li>◆災害時の医療救護活動に関する協定を平成19年3月30日に須賀川医師会と締結した。</li> </ul>
<p>平成19年度 (2007)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆妊婦一般健康診査の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 妊婦一般健康診査(妊娠前期)にHCV・HIV抗体価検査を追加</li> <li>② 全妊婦の公費負担回数を2回(妊娠前期・後期各1回)から5回(妊娠前期・後期各1回、その他3回)に増加</li> </ul> </li> <li>◆精神保健社会生活適応支援事業(精神デイケア)の開始</li> <li>◆精神保健ボランティア講座開催</li> <li>◆障がい者ふれあい交流会の開催(リハビリ運動会廃止)</li> <li>◆長沼地区・岩瀬地区において、「明るいまちづくりの会」に健康づくり事業を位置づけ、市民と協働した健康づくり活動を開始</li> <li>◆結核予防法が廃止され、感染症法に統合</li> </ul>

年 度	内 容
平成20年度 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特定健康診査、特定保健指導事業開始</li> <li>◆老人保健法が「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正され、老人保健事業の保健事業は健康増進法へ</li> <li>◆妊婦一般健康診査の拡充 第3子以降の健診15回まで実施(4月1日~) 全妊婦の公費負担回数を15回に拡充(2月~)</li> <li>◆麻しん・風しん混合予防接種の第3期(中1対象)、第4期(高3:18歳対象)の追加(※平成25年度までの5年間)</li> <li>◆須賀川市地域医療協議会を開催</li> <li>◆保健師配置等内部検討会を開催</li> <li>◆乳児家庭全戸訪問事業「こんにちは赤ちゃん事業」開始</li> <li>◆地域医療を考える講演会(2月27日 講師 福島医大学長 菊地臣一氏)</li> </ul>
平成21年度 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保健師を地区担当と業務担当に配置</li> <li>◆女性特有のがん検診推進事業開始</li> <li>◆新型インフルエンザ対策本部を設置</li> <li>◆新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン集団接種実施(12月~3月)</li> <li>◆日本脳炎定期予防接種(1期)に使用できるワクチンとして 乾燥細胞日本脳炎ワクチンが追加(6月~)</li> <li>◆地域医療を考える講演会(11月13日 講師 城西大学准教授 井関友伸氏)</li> <li>◆休日夜間急病診療所で平日夜間(19:30~22:00)の診療開始(11月2日)</li> <li>◆「ママーズホットタイム」、「健康カルタとり大会」、「母親学級(昼コース)」を廃止</li> <li>◆「福島県自殺対策緊急強化基金事業補助金交付要綱」策定に伴う事業の実施</li> <li>◆市民健康課を総合福祉センターに移転(3月1日)</li> </ul>
平成22年度 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆機構改革により健康福祉部健康づくり課に名称変更(4月1日)</li> <li>◆日本脳炎予防接種の一部積極的な接種勧奨の再開(平成17年5月30日以後、積極的な勧奨が差し控えられていたが、3歳に対する初回接種(2回)のみ積極的勧奨を再開)</li> <li>◆「須賀川市健康アップ21」、「須賀川市すこやか親子21」の最終評価を行い、併せて「食育推進計画」を加え統合した「須賀川市健康増進計画」を策定(計画期間、平成23~32年度)</li> <li>◆須賀川・岩瀬及び石川地方地域医療懇談会及び同研究会設置並びに開催</li> <li>◆新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種助成事業実施(10月~3月)</li> <li>◆地域医療を考える講演会(11月17日 講師 NPO法人地域医療を育てる会理事長 藤本晴枝氏)</li> <li>◆子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業の開始(対象:高校1年生相当の女子)</li> <li>◆休日夜間急病診療所で土曜日夜間(18:30~21:00)の診療開始(1月8日)</li> <li>◆東日本大震災発生(3月11日) 保健センターを避難所として活用(H23.4末まで) 市内医療機関の開設状況の情報収集・提供 保健師による各避難所の巡回健康相談を実施 藤沼湖堰堤決壊に伴う防疫活動</li> </ul>

年 度	内 容
平成23年度 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆仮設住宅の全戸訪問の実施</li> <li>◆健康づくり課を須賀川アリーナに移転(4月1日)</li> <li>◆ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種助成事業の開始</li> <li>◆健康づくり課に地域医療対策室を設置(6月1日)</li> <li>◆東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による対応 【健康管理対策】 個人線量計での測定(バッジ式積算線量計の配付) 電子式個人線量計の貸出 内部被ばく検査の実施(県事業) 医療法人誠励会(ひらた中央病院)との内部被ばく検査に係る協定締結(12月10日) 正しい知識の普及を目的に講演会を開催(3回) 県保有の車載型ホールボディカウンタで内部被ばく検査の実施(岩瀬・長沼・仁井田地区内の各小学校及び西袋第二小学校児童を対象、1月18日～3月25日)</li> <li>◆台風15号に伴う洪水による防疫活動(9月)</li> <li>◆HAPPYマタニテイクラスの開催(年4回、土曜に1回の開催)</li> <li>◆妊婦一般健康診査にHILV-1、クラジミア検査を追加</li> </ul>
平成24年度 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公立大学法人福島県立医科大学に「周産期・小児地域医療支援講座」設置(設置期間:平成24年度～平成26年度)</li> <li>◆生ポリオワクチンから不活化ポリオワクチンへ移行(9月1日)</li> <li>◆四種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ)ワクチン接種開始(11月1日)</li> <li>◆公立岩瀬病院所有の車載型ホールボディカウンタで内部被ばく検査を開始</li> <li>◆(独)福島病院と公立岩瀬病院の統合協議に一定の区切り(10月3日、医大報告)</li> <li>◆がん検診受診率向上対策として特定健康診査会場等で健康づくり推進員によるがん検診登録のすすめを実施</li> <li>◆第二次須賀川市特定健診等実施計画を策定(計画期間:平成25年度～29年度)</li> <li>◆特定健康診査の血液検査項目に「クレアチニン」を追加</li> </ul>
平成25年度 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公立大学法人福島県立医科大学に設置した「周産期・小児地域医療支援講座」について、本市、岩瀬郡及び石川郡の1市4町3村共同で設置費を負担し、地域全体の取り組みへ移行</li> <li>◆がん検診に前立腺がん検診を追加(対象:40歳以上男性)</li> <li>◆ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン及び子宮頸がん予防ワクチンが定期予防接種化</li> <li>◆子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の差し控え(6月14日)</li> <li>◆定期外予防接種制度の廃止</li> <li>◆19～39歳で既存健診対象外の県民に対する集団検診を開始</li> <li>◆大人を対象とした先天性風しん症候群予防対策事業開始(7月1日)</li> <li>◆母子保健法の改正により、未熟児養育医療費の支給の認定、未熟児訪問指導が県から権限移譲された</li> </ul>

年 度	内 容
平成26年度 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆10月、国及び県との整合性を図るために健康増進計画の評価時期を2年延長(中間評価を29年度、最終評価を34年度)</li> <li>◆公立大学法人福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターの支援を受けて健康長寿推進事業を実施。定期的な担当者会議の開催し、平成27年2月から本事業決定機関として健康長寿事業会議を開催。年度末にグランドデザインが提示。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿推進事業の実施について、須賀川市と福島県立医科大学との合同記者発表会(8月27日)</li> </ul> </li> <li>◆特定不妊治療に要する治療費の一部を助成(1人1回10万円以内)</li> <li>◆自殺防止等対策事業として「関係機関担当者会議」「ゲートキーパー研修会」を開催。9月及び3月の自殺防止強化月間には、関係機関において啓発活動を実施。</li> <li>◆水痘ワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンが定期予防接種化(10月1日)</li> </ul>
平成27年度 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆男性に対する不妊治療に要する治療費の一部を助成対象とした(1人1回10万円以内) <ul style="list-style-type: none"> <li>助成回数を年1回から通算回数とした。</li> </ul> </li> <li>◆健康長寿推進事業の一環として <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区(須賀川地区)でウルトラ健診・健康長寿健診を開始(8月～2月)</li> <li>・ウルトラ健診・健康長寿健診結果説明会の開催</li> <li>・食と健康のワークショップの開催</li> <li>・健康長寿ワークショップ(講演会、運動・食と健康・お口・お薬・健診コーナー設置、健康相談)</li> </ul> </li> <li>◆地域医療を守る市民基金を創設</li> <li>◆公立大学法人福島県立医科大学の「周産期・小児地域医療支援講座」を延長(設置期間:平成27年度～平成31年度)</li> <li>◆公立岩瀬病院改革プラン推進事業として公立岩瀬病院企業団に対し5億円を貸付</li> </ul>
平成28年度 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時の医療救援活動等に関する協定を平成28年8月26日に須賀川歯科医師会及び須賀川薬剤師会と締結した。</li> <li>◆災害時における健康支援活動マニュアルを作成した。</li> <li>◆健康長寿推進事業の一環として <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区(須賀川地区)でウルトラ健診・健康長寿健診(8月～2月)の通知の際、ハイリスク者を選定してチラシを同封した。</li> </ul> </li> <li>◆すかがわ健康づくりポイント事業実施開始。(ふくしま【健】民パスポート事業)</li> <li>◆B型肝炎ワクチンが定期予防接種化(10月1日～)</li> <li>◆公立岩瀬病院企業団構成市町村(本市、鏡石町、天栄村、玉川村)で、医学生を受け入れる地域医療体験研修を実施した。(8月)</li> <li>◆地域医療医師業務負担軽減支援事業として、医師事務作業補助者を配置している救急告示病院等へ補助金を交付した。(市内4病院)</li> <li>◆地域医療を守る市民基金を活用し公立岩瀬病院の産科婦人科診療棟施設整備を支援した。(補助金2,170万円を交付)</li> </ul>

年 度	内 容
平成29年度 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「須賀川市健康増進計画」の中間評価を行い計画後期の見直しを図る。 (計画期間、平成23～34年度)</li> <li>◆第三期須賀川市特定健診等実施計画の策定 (計画期間：平成30年度～34年度)</li> <li>◆産後ケア事業の実施。県内の委託助産院などや公立岩瀬病院と委託契約。</li> <li>◆健康長寿推進事業の一環として <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区（須賀川地区）から市内全域に広げ事業を行った。</li> </ul> </li> </ul>